

令和5年度 食育・地産地消事業実績

農政課①

事業名等	実施期日	実施場所	対象者	参加者数	実施内容	備考
紫波の食ナビによる食と農の情報提供	随時		一般市民	-	紫波町ホームページ、SNSによる食農情報の発信(今日の給食、小中学校、児童施設、地域の食農体験の様子、おすすめレシピ、産直のイベント情報)	紫波の食ナビHP閲覧数 47,508件 紫波の食ナビInstagram フォロワー335人(昨年度末から+113人)
食育の日・食育月間を活用した普及啓発	随時		一般市民	-	広報誌にて、食育パートナー紹介記事(6月号) 町内で広まる食育・地産地消活動の紹介(10月号、3月号予定)を掲載	
食育パートナーの登録及び活動支援	随時		食育パートナー	個人:8人 団体:7団体	広報、紫波の食ナビにて活動を紹介し、1団体の新規登録活動の支援、促進に努め、食育パートナー連携事業や保育園等で活動を企画し、実施。	詳細は「紫波の食ナビHP」及び「Instagram」
銀河のしずくPR番組撮影	5月18日	町内	一般市民	-	県知事の銀河のしずく田植え行事に併せて、銀河のしずくのPR番組を撮影。 町内銀河のしずく生産者が出演、農業の魅力や米作りのこだわり、岩手県食の匠による町産食材を活用したおかずと銀河のしずくご飯を提供。 銀河のしずくと町産農畜産物を県内全域へPR。	詳細は「紫波の食ナビHP」及び「Instagram」
町内保育園等の農業体験	①8月30日 ②9月15日	①長岡地区 ②赤沢地区	①赤石うさぎ保育園 ②オガール保育園	①14人 ②36人	①枝豆収穫体験 ②パプリカ収穫体験 町内2つの保育所を対象に、農業体験をマッチング。 新たに農業体験を受け入れてくれる事業協力者を発掘。	詳細は「紫波の食ナビHP」及び「Instagram」

農政課②

事業名等	実施期日	実施場所	対象者	参加者数	実施内容	備考
町内学童クラブの調理体験	①10月23日 ②1月10日	①中央公民館 ②片寄地区	①みちくさ学童クラブ ②片寄こどもの家	①29人 ②24人	①お昼ご飯作り教室 ②みそ作り教室と炊飯実習 調理体験だけでなく、食材の組み合わせ方、バランスよく食べることの大切さや学校の授業で学習したこととリンクする体験を企画し、理解を深める体験。	詳細は「紫波の食ナビHP」及び「Instagram」
紫波町産業まつり	10月14日 10月15日	サンビレッジ紫波	一般市民	—	ワークショップで楽しみながら野菜に触れたり、食育・地産地消に関するアンケートや、明治安田生命保険相互会社によるページチェックなど食や農、野菜について親しみをもつ機会とした。	アンケート回収:200件
わんぱくまつり	11月15日	日詰小学校	日詰小学校 3年生	73人	紫波町の農業について写真を使用し学習。学校給食に使われている紫波町産の食材から食材の旬について学習。 1月24日の学校給食週間の特別給食にて、町産食材を活用した「わんぱくみそ汁」を提供。	
スポーツ×栄養講座	2月11日	町総合体育館	紫波町スポーツ少年団に所属する6年生とその保護者	7人	食×農×スポーツをテーマに民間企業と連携し、元スポーツ選手の経験を交えた講座を開催。 紫波町ならではの補食の提案など、次のステージで生かせる知識を学習した。	詳細は「紫波の食ナビHP」及び「Instagram」
食育・地産地消推進事業社会実験	通年	町内	実践実証プロジェクトに取り組む市民・団体等	5団体	紫波総合高等学校 盛岡大学 オガール紫波株式会社 古館まちづくりの会 紫波ツーリズム協議会 行事食・郷土食の料理教室、産直の環境整備、共食の場づくり、農業体験、調理体験、親子で紫波町の農業を体感できるプログラム活動を支援。	活動詳細は「紫波の食ナビHP」及び「Instagram」

健康福祉課

事業名等	実施期日	実施場所	対象者	参加者数	実施内容	備考
幼児の健診診査	12回	はつらつホール	乳幼児の保護者	12回:460人	栄養相談および栄養指導	
乳幼児相談	30回	はつらつホール	乳幼児の保護者	30回:484人	栄養相談および栄養指導	
パパママ教室	7回	はつらつホール	妊婦とその夫	7回:46人(24組)	妊娠中の食事と栄養についての講話 栄養相談及び栄養指導	
もぐもぐ離乳食教室	12回	はつらつホール	7～8カ月児を持つ保護者	12回:30人	離乳食の進め方についての講話 だし汁と味噌汁の試飲 栄養相談及び栄養指導	
幼児教室	1回	はつらつホール	幼児教室に通う親子	1回:4組(8人)	親子でおやつ作り	
食育事業への協力	通年	地区公民館 小学校 情報交流館	町民	281人	公民館主催健康講座 日詰小学校わんぱくまつりへの資料提供 子育て支援講座・学童の食育教室 等	
食生活改善推進員 協議会の食育事業支援	通年	地区公民館等	町民	745人	食生活改善推進員協議会主体の食育事業への支援 (郷土料理の伝承、減塩・適塩普及活動、高齢者の低栄養予防、災害時の食事 等)	
町広報誌による情報提供	通年		町民	12回	健康食のレシピや食に関する情報発信	

環境課

事業名等	実施期日	実施場所	対象者	参加者数	実施内容	備考
ごみ減量・分別説明会の開催	随時	地区公民館 自治公民館	地域住民	163人	地域に出向き「食品廃棄物の削減」について啓発	環境マイスターによる説明会 7回 延べ 163人
フードドライブの普及啓発	随時	情報交流館 サンビレッジ紫波	一般町民	50人	食品ロス削減月間等のイベントでフードドライブ活動についてポスター掲示により啓発	しわエコまつり R5年12月17日開催
段ボールコンポストの普及啓発	通年	町内	一般町民	5人	段ボールコンポストの普及をととして「生ごみ減量」と「有機資源循環」を推進 (段ボールコンポストはごみ減量女性会議が販売し、循環型エコプロジェクト推進事業の申請により「エコbeeクーポン券」が交付される。)	紫波町段ボールコンポスト普及促進事業 エコbeeクーポン交付申請5件
廃食用油回収 リサイクルの促進	通年	町内	一般町民	6団体	廃食用油回収とBDFリサイクル利用の促進をととして「水環境保全」と「地球温暖化防止」を推進 (回収は地域ごとに実施し、循環型エコプロジェクト推進事業の申請により「エコbeeクーポン券」が交付される。)	紫波町廃食用油回収促進事業 エコbeeクーポン交付申請6件
食品ロス削減を通じた 「もったいない」精神の醸成	随時	町内	一般町民	50人	「しわエコまつり」等のイベントや「ごみ減量・分別説明会」において啓発、また「紫波ネット」に掲載	しわエコまつり R5年12月17日開催 紫波ネット(R5年7月号)「環のくに」に掲載

商工観光課

事業名等	実施期日	実施場所	対象者	参加者数	実施内容	備考
ツーリズム・民泊体験受入	通年	町内	児童・学生・一般	0人	民泊体験、農作業体験	紫波ツーリズム協議会事業
野菜いっぱいプロジェクト	4回	町内	児童・学生・一般	155人	町の補助金を活用した事業。農畜産物の生産や飼育を通して農業への理解と採れた農畜産物を調理して美味しさを味わい自然と農業を理解し、調理体験を通して丸ごと紫波町の農畜産物を体感でき、親子で共通の話題ができることで将来農業への参画を期待して実施された。 ・紫波もちもち牛を見て、触っておいしく食べるツアー ・餅つき体験 ・さつまいものお菓子作り体験 ・大豆からお味噌を作る体験	紫波ツーリズム協議会事業
うちエコごはん講座	0回			0人	実施できなかった	紫波みらい研究所事業
りんごを通して 紫波町の観光を考える会	1回	情報交流館	事業者・一般	39人	観光振興計画の改定及び中小企業振興条例の策定に向けて、関係事業者等の声を聞き、連携体制を構築するためのイベントを開催した。今回はりんごをテーマとし、農業者・事業者の課題解決や、新事業へのヒントを見つけていただく会とした。 ・ゲスト講師によるタルトタタンの説明と実食 ・ホップサイダーの試飲とペアリング	紫波町観光交流協会・商工観光課共催 紫波ツーリズム協議会協力

学校給食センター①

事業名等	実施期日	実施場所	対象者	参加者数	実施内容	備考
「給食だより」などによる情報発信	18回	各小・中学校	児童・生徒・保護者	－	食の楽しみ、関心の醸成を図るため、献立表の「学校給食一口メモ」や「センターだより」等により食に関する情報発信を行った。	学校給食一口メモ:12回 給食センターだより: 6回
栄養教諭による食の指導	75回	各小・中学校	児童・生徒	－	児童生徒の食に関する知識、意識を養うため、各学校との連携のもと、栄養教諭による食に関する指導、教育を行った。	小学校:65回 中学校:10回
「学習ふりかえり給食」 「読書給食」の実施	39回	各小・中学校	児童・生徒	－	学習と食体験の相乗効果による理解向上を図るため、授業や本に登場した食物や料理を献立に採用する給食を実施した。	学習ふりかえり給食:35回 読書給食: 4回
「よくかむ給食」 「減塩・適塩の日給食」の実施	19回	各小・中学校	児童・生徒	－	噛むことや減塩適塩の大切さを啓発するため、毎月19日の食育の日に「よくかむ給食」、28日の減塩適塩の日に「減塩・適塩の日給食」としてテーマに沿った献立を提供した。	よくかむ給食:10回 減塩・適塩の日給食: 9回
「紫あ波せお29推進月間」の催行	10月29日～ 11月29日	各小・中学校	児童・生徒	－	10月29日(とり肉の日)から11月29日(いい肉の日)を「紫あ波せお29推進月間」とし、地産地消を意識しながら地場産の鶏・豚・牛肉を味わう機会を提供した。	鶏肉のねぎソースかけ しわ豚と大根の黒砂糖煮 もちもち牛とごぼうのしぐれ煮

学校給食センター②

事業名等	実施期日	実施場所	対象者	参加者数	実施内容	備考
地場産加工品推進 献立の提供	4回	各小・中学校	児童・生徒	－	日常的に地場の食品に親しむ機会を提供するため、地場産食材を材料にした加工品を献立に使用した。	紫あ波せかぼちやコロッケ：2回 紫あ波せポテコロッケ：2回
郷土食伝統食献立の提供	18回	各小・中学校	児童・生徒	－	「学校給食一ロメモ」等の情報と関連づけて、地域の食文化に関心を寄せる契機とするため、郷土料理や季節の行事食等を献立に取り入れた。	郷土食、伝統食：9回 行事食：9回
「希望献立」 「作成献立」の実施	9回	各小・中学校	児童・生徒	－	食指導の理解や食への関心を深める機会とするため、児童生徒が食指導での学習や日々の給食喫食経験を生かして作成した献立を提供した。	
食材生産者との交流	11月14日	古館小学校	児童・生徒・食材 生産者	古館小学校 3年生 75人 生産者等 6人	岩手中央農協養豚専門部会、株式会社いわちく及び町が連携し、生産者との交流を通して地元食材を知ってもらう「出前授業」を行い、その際、当該部会から寄贈された豚肉を使用した献立を提供した。	
地場産食材の利用推進	定例会議12回 ほか随時	－	学校給食組合 農政課 等	－	学校給食組合との定例会議を開いて食材の安定確保や利用可能な食材の掘り起こし等を図るほか、情報交換など地場産食材利用の維持、拡大に努めた。	学校給食組合定例会：毎月1回

学校教育課

事業名等	実施期日	実施場所	対象者	参加者数	実施内容	備考
「弁当の日」推進事業	随時(学校において計画実施)	小・中学校及び校外	全小中学校(8校)の児童生徒	「小学校」 延べ2,533人 「中学校」 延べ2,019人	家庭において、児童・生徒が家族と一緒に弁当を作ることで、食への関心や興味及び知識を高める。	全小中学校8校のうち、未実施1校(中学校1校)
農作業等体験活動	随時(学校において計画実施)	小・中学校及び校外	全小中学校(8校)の児童生徒	「小学校」 延べ1,238人 「中学校」 延べ532人	各学校において、地域の協力を得ながら農作業体験を実施し、自然の恩恵や食文化に関する理解を深める。 また、調理体験や収穫祭等を実施し、食生活について考える機会を得るとともに収穫の喜びを体験する。	全小中学校実施

生涯学習課①

事業名等	実施期日	実施場所	対象者	参加者数	実施内容	備考
名誉町民「橋本善太」顕彰事業わんぱくまつり	11月15日	日詰小学校	日詰小学校3年生	73人	日詰出身の名誉町民、橋本善太を顕彰するとともに、紫波町農産物、食育への理解を深めることができた。	
親子食育体験教室	5回	日詰公民館	小学生親子	104人	親子対象に簡単に作れるお菓子、味噌、おにぎり、ハンバーグ等の料理講習	
味噌作り教室	11月25日	日詰公民館	地区住民	18人	紫波町産食材を使用し、身体に優しい料理作り講習	
郷土食料理教室	2月実施予定	日詰公民館	地区住民		ひつつみ料理などの郷土料理教室	

生涯学習課②

事業名等	実施期日	実施場所	対象者	参加者数	実施内容	備考
酒粕料理教室	全5回	日詰公民館	地区住民	32人	紫波町産酒粕を使用した料理講習	
男の料理教室	7回	古館公民館	地区住民	82人	季節ものの食事や手軽に作れる料理講座	
自分磨き講座	2回	古館公民館	地区住民	36人	そば打ち体験、海苔巻き作り講座	
小正月を楽しむ会	1月	古館公民館	地区住民	56人	餅つきや、みずき団子を作って、小正月行事について学習を行い世代間交流を図ることができた。	
社会参加活動	1回	水分公民館	中学生・育成会	47人	水分神社の水と水道水の飲み比べて違いを学習した。	
にこにこひろば	1回	水分公民館	児童館 小中学生 地区住民	16人	食育鍋を使って炊飯実習（お米が炊けるまでを学習）	
紫水会	3回	水分公民館	地区住民	25人	季節の食事や伝統食の調理実習・教育実習生による健康講話	
にこにこひろば	1回	志和公民館	幼児、保護者 地区住民	20人	味噌づくり体験教室	

生涯学習課③

事業名等	実施期日	実施場所	対象者	参加者数	実施内容	備考
知っ得！！ベジ食べる	7月	志和公民館	地区住民	9人	野菜ソムリエさんから旬の野菜を使った料理を学んだ。	
志和地区食生活改善推進協議会	4回	志和公民館	地区住民	36人	地元食材を使った料理講習や情報交換の場とすることができた。	
みずき団子作り	1月	志和公民館	幼児、保護者 地区住民	85人	みずき団子づくり、雪田植えて高齢者と交流ができた。	
食育講座	6月 2月(予定)	赤石公民館	親子・地区住民	12人	6月：親子料理教室「酒かすチーズケーキ」 2月：郷土料理講座「ひなまんじゅうをつくろう」	
おひな様まつり	3月 予定	彦部公民館	親子 (保育所・小学校)		地元につながるひな饅頭づくりと抹茶の作法を学習した。	
食育・農業体験 「ピカリン農園」	5回	佐比内公民館	児童館 小中学生 地区住民	87人	さつま芋の植付け、畑の草取り、親子でさつま芋収穫体験	
ハーブ教室	7月	佐比内公民館	地区住民	7人	ハーブと夏野菜の体に優しい減塩料理作り	
郷土料理講座	11月	佐比内公民館	地区住民	19人	くるみ味噌入りかまやき・ごま蒸しづくりなど	

生涯学習課④

事業名等	実施期日	実施場所	対象者	参加者数	実施内容	備考
小学生ステップアップ教室	7月28日	赤沢公民館	赤沢地区小学生	35人	小学生夏休みステップアップ教室において、地区の方々の協力でピザ窯による、ピザ作りを行った。	
中学生社会参加活動 (世代間交流事業)	8月11日	旧赤沢児童館	赤沢地区中学生、 フェスティバル参加者	130人	社会参加活動「赤沢サマーフェスティバルin2023」において、中学生手作りの焼きそばを屋台で販売した。	
赤沢地区食生活 改善推進協議会	10月4日	赤沢公民館	地区住民	3人	地区の産物(りんご・紫イモ)を使った秋のがんづき作り	
赤沢秋のタベ	11月21日	赤沢公民館	地区住民ほか	42人	赤沢のワインの解説によりそのすばらさを知り、県内シェフによる県産食材と共に地元住民が楽しむ機会とした。	
手作りおやつ体験	8月	長岡公民館	中学生・育成会	11人	こども憩いの広場参加児童のおやつ作り	
世代間交流 「みずき団子作り」	1月	長岡公民館	児童館、小中学生 地区住民	58人	地域に残る小正月行事の伝承と意義を学習した。	
みんなで団欒 ヨルメシ料理教室	11月	長岡公民館	地区住民	11人	1日の疲れを癒す一品づくりと参加者同士の交流ができた。	
男の料理教室 「まかせて厨房」	3回	長岡公民館	地区住民	19人	新鮮な食材を使い、料理の基本を学び、男の料理を楽しんだ。	
ひなまつり	3月 予定	長岡公民館	地区住民		雛人形の由来・雛菓子づくりを体験しながら交流を深める。	

こども課

事業名等	実施期日	実施場所	対象者	参加者数	実施内容	備考
児童施設での 農業体験・調理体験	随時	各児童施設	児童	2,743人	保育所、認定こども園の活動の中で、農作物の栽培・収穫 や簡単な調理を体験した。	農業体験 延べ 985人 調理体験 延べ 1758人
食に関する情報の発信	随時	各児童施設	保護者	-	子どもの活動や給食の提供、おたよりの配布などを通して、 保護者に食についての情報を発信した。	